

◀ 前期（座学） ▶ 講座概要

	講義科目・講師名	講義のポイント	受講者の声（参考）
植物のしくみ学習コース	○植物の生育環境とその分布 濱野 周泰 元東京農業大学教授	植物の生育に係る環境要因を確認するとともに、植物の自然分布や植栽分布について学ぶ。	○環境や気候区分と植物の生育について、非常に分かりやすい語り口で解説されるので、とてもわかりやすかった。
	○植物の構造と生理生態 福田 健二 東京大学農学生命科学研究科 教授	植物の構造を正しく理解し、都市環境という厳しい植栽環境の中で生き抜くことの難しさと植物の生存戦略について学ぶ。	○植物の生理生態から光合成のメカニズムまで、非常に高度な内容だったが、話がおもしろく引き込まれ、興味がでた。
	○草本植栽の基礎知識 奥 峰子 (有)ホリーホックガーデン代表取締役	草本植物の特性を確認するとともに、様々な公園で行われた植栽の実績を例に、花壇の植栽・管理に係る留意事項について学ぶ。	○先生の軟らかな語り口で草花の魅力が存分に紹介され、実際にこの講義で紹介された庭園や公園に行ってみたくなった。たぶん見る目が変わると思う。
	○樹木管理の基礎知識 内田 均 (一社)日本庭園協会 会長	植物の管理を行っていくための基本的考え方を確認するとともに、育成管理・維持管理に係る留意事項について学ぶ。	○樹木の管理、特に剪定についての様々な事例と、街路樹における塗布剤や支柱のあり方に至るまで、様々な根拠に基づき解説され、目から鱗の講義。
病害・虫害の学習コース	○樹木腐朽病害の基礎知識 服部 力 森林総合研究所	倒木等の大きな原因のひとつである木材腐朽病害について、発生メカニズムや見分け方、対応策等について学ぶ。	○代表的な腐朽病害について、そのメカニズムや特徴を詳しく学べたので、ようやくクライアントに倒木のリスクや必要な対策について説明できる。
	○樹木病害の基礎知識 金子 繁 元森林総合研究所関西支所長	樹木等に害を与える主な病原体の特性と生育への影響と、その対策について学ぶ。	○病害は資料を読んでも頭に入らなかったが、講義で系統立てて解説されていたので、知識として定着した。
	○農薬の取り扱い方法 相川 宏史 (株)ニッソーグリーン 開発・海外マーケティング 部長	病害、虫害の講義を踏まえた適正な薬剤の選択方法と使用量、適正な散布方法について学ぶ。	○農薬は造園業者であれば避けて通れない分野ですが、その概要を理解する意味では最新の知見を学べるので、現場レベルで非常に役に立つ。
	○樹木虫害の基礎知識 北島 博 森林総合研究所 企画部研究企画科科长補佐	樹木等に害を与える主な虫害の特性と生育への影響と、その対策について学ぶ。	○虫害は苦手とする分野で、虫がいないと判別できなかったが、虫がいなくても、発生時期やフラスの特徴、脱出口の大きさから想定できる事に驚いた。
自然共生の学習コース	○芝及び地被植物の基礎知識 高橋 新平 東京農業大学造園科学科 教授	芝草及び地被植物の特性を確認するとともに、現場での事例を踏まえ、育成管理等に係る留意事項について学ぶ。	○芝についての知識に乏しかったので手頃な講義を探していたが、芝の様々な品種の紹介からその維持管理方法までが解説されており、とてもよかった。
	○竹の生態と有効活用 柴田 昌三 京都大学大学院地球環境学舎教授	日本全国で管理者を悩ませている竹や笹（ササ）の生態的特徴と管理について正しく理解し、竹や笹の価値とその活用方法について学ぶ。	○講義がとにかく面白い。話し方も素晴らしい。 ○体系的な竹の講義はとても有難い内容でした。 ○竹の利用方法を知ることができてとてもよかった。
	○都市型水害の抑制 森本 幸裕 京都大学名誉教授 (公財)京都市都市緑化協会理事長	屋上緑化や雨水貯留機能を造園的デザインに融合させた「雨庭」の考え方を確認し、都市型水害の抑制について学ぶ。	○雨庭の講義は夢が広がりました。 ○生物多様性の世界的な最新動向を知ることができました。
	○土壌の基礎知識 水庭 千鶴子 東京農業大学造園科学科 教授	土壌学の基礎や植物との係わりを確認するとともに、植栽基盤の望ましいあり方（物理性・化学性）について学ぶ。	○土壌の基礎知識はもちろん、樹木の植栽基盤としての土壌とは何か？また、その状態を評価するための調査方法まで学べたのがよかった。
緑地管理の学習コース	○造園植栽の基礎知識 山本 紀久 (株)愛植物設計事務所 会長	植物の管理を行っていくための基本的考え方を確認するとともに、育成管理・維持管理に係る留意事項について学ぶ。	○書籍「造園植栽術」をベースとして、その重要なポイントを絞って構成されており、必ず押さえるべき基本を学ぶことができた。
	○ガーデンキュレーターの緑地管理 小島 理恵 Q-GARDEN 代表取締役	ガーデンキュレーター（緑地全体の統括監視責任者）が実施する緑地設計の意図を汲んだ管理の重要性について学ぶ。	○実体験を交えたヨーロッパの最先端思想の紹介はともて勉強になりました。 ○シンプルで新しい視点から造園を考えることができました。
	○地域性植物の基礎知識 上條 隆志 筑波大学生物資源科学類 教授	安易な外来種利用による課題を理解し、自生種（在来植物）を用いた緑化手法と生態系の回復や、火山生態系における荒廃地の植生回復について学ぶ。	○三宅島のお話しに感動しました。 ○新しい知識を得ることができました。 ○遺伝的攪乱について、植物生態の歴史的背景から理解が深まりました。
	○都市における鳥類の基礎知識 橋本 啓史 NEW 名城大学農学部生物環境科学科准教授	都市に生息する野鳥の健全な生態系を創出するための緑地の保全および整備のあり方について学ぶ。	令和8年度 NEW!